

## 「Econophysics in Social Media」

佐野幸恵

本発表では 2007 年より現在までの、ソーシャルメディアに関する経済物理学分野での研究を紹介する。

ソーシャルメディアは、従来のマスメディアとは異なり、インターネットを基盤とするため、ユーザ同士の双方向型で情報を発信、受信できることが最大の特徴である。その結果、多くの一般人から発信された内容から、社会の興味や雰囲気を定量的に抽出することが可能となった。

東工大高安研究室では、2007 年から主にブログにおける単語の出現頻度時系列の解析、モデル化を行っている。そこで前半では、ブログ時系列でみられる揺らぎ、典型的な数理パターン、またそのモデルについて説明する。後半は、ソーシャルメディアの1つである Twitter で、東日本大震災時に拡散したデマの、拡散、収束の詳細な解析とモデルについて説明する。